

## 抽選方法の説明

今回申込受付を行った世界文化遺産貨幣セット(百舌鳥・古市古墳群ー古代日本の墳墓群ー)については、抽選対象数を超える多数のお申込みがありましたので、次のとおり抽選を行います。

なお、当該貨幣セットの申込数については制限を設けず受付を行ったところですが、抽選となったことから一人の購入数を最大3セットに制限しております。

### 【申込状況及び抽選対象数】

区分	世界文化遺産貨幣セット (百舌鳥・古市古墳群ー古代日本の墳墓群ー)
申込数	52,327件
販売数	40,500セット
抽選対象数	40,491セット <sup>(※1)</sup>
当選倍率	1.29倍 <sup>(※2)</sup>

(※)「抽選対象数」は、「販売数」から、展示用等として若干数を控除します。

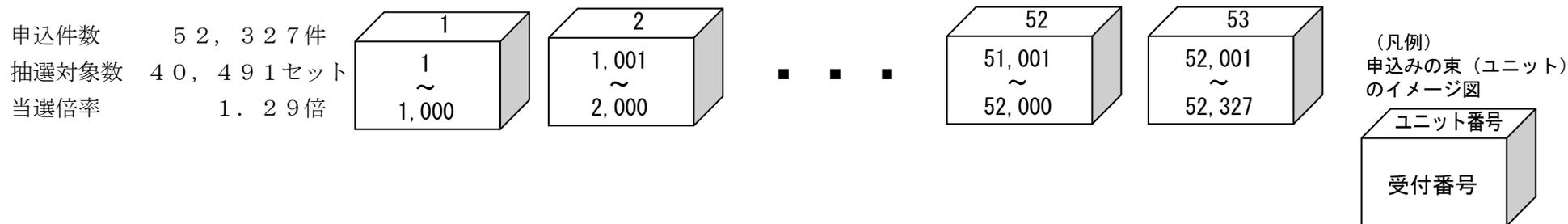
(※)「当選倍率」は、申込件数を基に計上。

### 【抽選方法例】

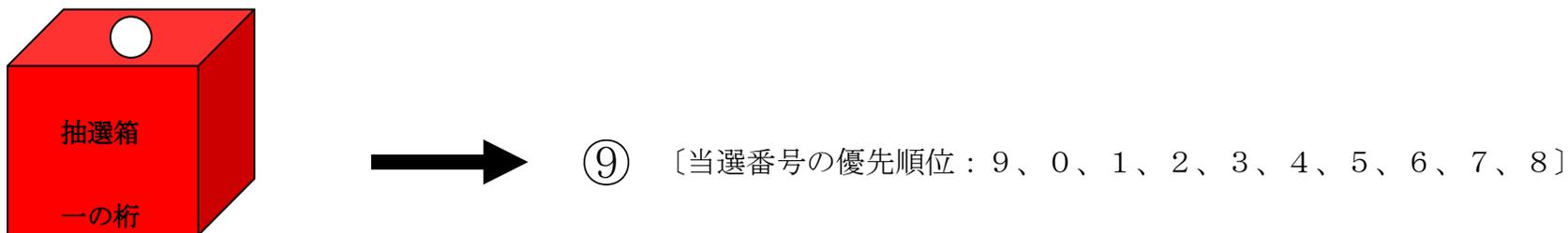
- ① 全ての申込み(はがき及びオンラインショップでの申込み)に「1」から順番に受付番号を付します。なお、オンラインショップでの申込受付は、はがきでの申込みに付した最終の受付番号の次から受付番号を付して整理しています。これらの受付番号1,000ごとを1ユニットとし、その順番をユニット番号とします。
- ② 最初に、受付番号の下1桁の当選番号を決定します。  
「0」～「9」の番号を付けた10個のボールを、中が見えないようにしてある箱の中に入れ、抽選者が、その箱の中から1個のボールを取り出す方法により行います。当選番号は、そのボールの番号を優先順位第1位とし、以下の優先順位は、その番号に順次1を加えた数とします。なお、この際、「9」の次は「0」とします。
- ③ 次に、申込みの整理順による不公平をなくすため、抜き取りを開始するユニット番号を決定します。  
「0」から「5」までの番号を付けた6個のボールを「黄色(十の桁)」の箱に入れ、「0」から「9」までの番号を付けた10個のボールを「赤色(一の桁)」の箱に入れ、それぞれの箱からボールを1個ずつ取り出す方法により行います。
- ④ ③により決定されたユニット番号から、②で決定された当選番号の順に、受付番号の下1桁の番号が当選番号と一致する申込みを順次抜き取り、40,491セット目までを当選とします。
- ⑤ 40,492セット目以降の申込みは、キャンセル等が生じた場合の補欠とします。

(参考) 抽出例 (世界文化遺産貨幣セット (百舌鳥・古市古墳群—古代日本の墳墓群—))

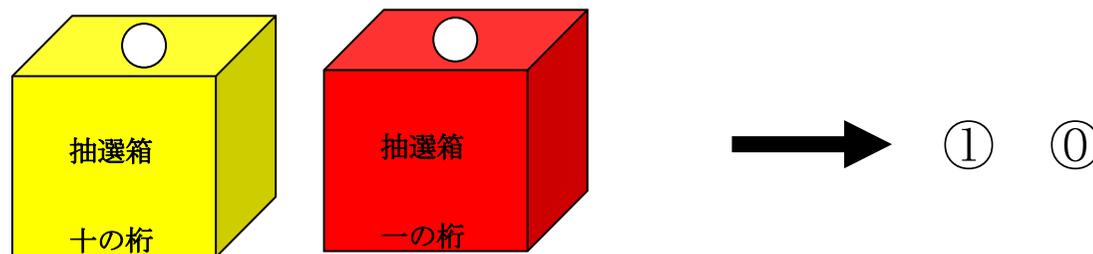
① すべての申込みに1から順に連番を振り、1,000ごとを1ユニットとします。



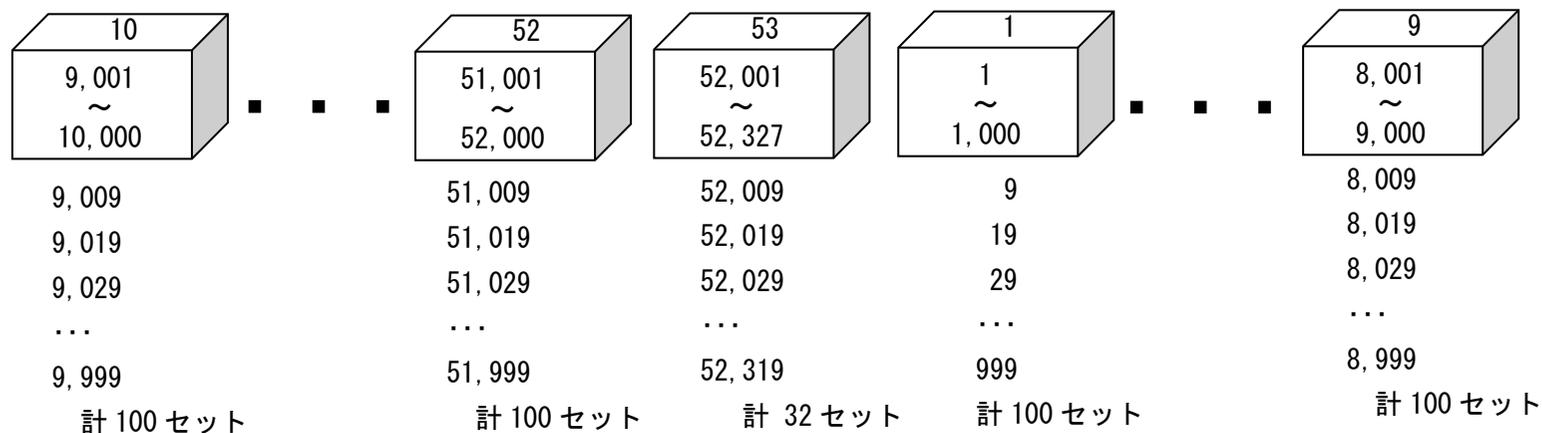
② 当選番号を決定するために、「赤色 (一の桁)」の抽選箱から1個、ボールを取り出します。



③ また、抽出を開始するユニット番号を決定するため、「黄色 (十の桁)」、「赤色 (一の桁)」の抽選箱から各1個、ボールを取り出します。



④ 抽選されたボールの番号により、ユニット番号10番から、順次、下1桁9番の申込みを抜き取ります。

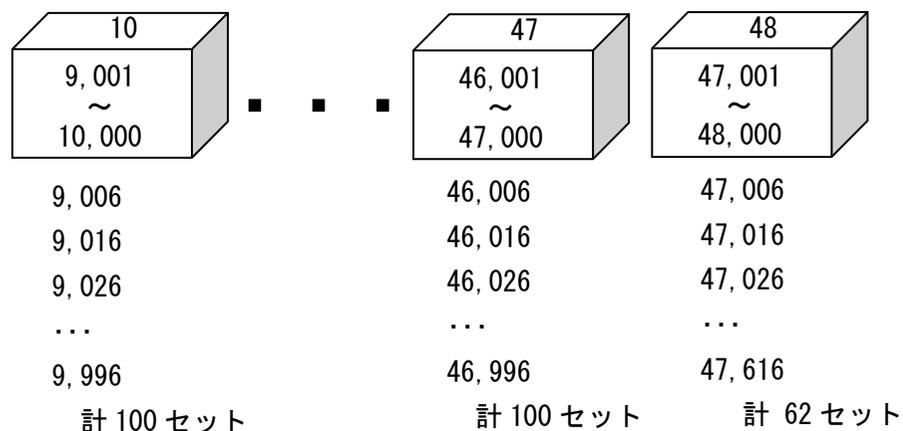


⑤ 下1桁0、1、2、3、4、5番の申込みについても、同様に抜き取ります。

下1桁0 : 5, 232セット、下1桁1 ~ 5 : 各5, 233セット

小計 5, 232セット  
小計 31, 397セット  
合計 36, 629セット

⑥ さらにユニット番号10番から、順次、抽選対象数の40, 491個となるまで、下1桁6番の申込みを抜き取ります。



小計 3, 862セット  
累計 40, 491セット

⑥ ユニット番号48番の受付番号47, 626番以降の申込みについては、キャンセル等が生じた場合の補欠となります。

※申込セット数が確定していないことから、1件ごとの申込セット数は1セットと仮定している。